取材雑記

◆自称「恐妻家」の男性が恥ずかしげに壇上に立った。真正面の席に座る妻に恐縮しながらも、意を決した様子で口を開く。「いつもおっかないけど、おまえが好きだー！」。万雷の拍手の中、男性は晴れやかな表情を浮かべ、妻の元へ。今月3日、上山市で行われたかみのやま温泉全国絶叫大会の一こまだ。

愛を叫ぶイベント

◆17回目を数えた名物イベント。今回、新たな試みとして、市内葉山の花咲山展望台が「恋人の聖地」に選ばれたことにちなんでテーマを「愛」に設定。祭りという特別な時間が愛を伝えることの照れを忘れさせてくれるのだろうか。普段は言いにくい妻や恋人への思いが次々に飛び出した。中には思いを伝えようとした妻が先に帰宅し、「何で帰るんだー！」と爆笑を誘う夫もいて、最後まで飽きさせなかった。

◆同様の企画では群馬県嬬恋村の「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」（通称キャベチュー）が全国的に有名だ。次回のテーマは未定というが、絶叫大会を「愛を叫ぶイベント」として定着させても面白いのではないか。さわやかな感動の余韻に包まれた会場で、そう思った。

（T）